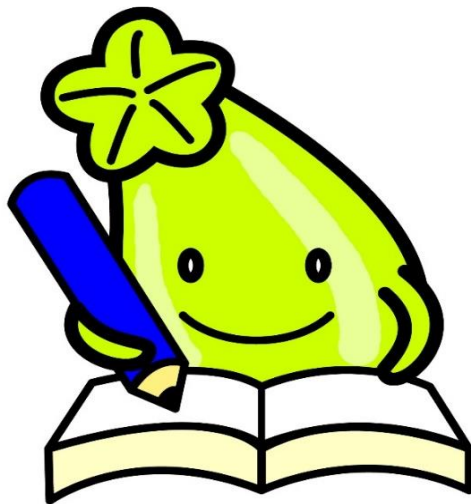


令和3年度 第1回 東成区民アンケート報告書



ご協力いただいた方
ありがとうございました！

令和3年12月実施
大阪市東成区役所

I アンケートの概要

1) 調査の目的

東成区の事業や取組みについて、区民の皆さんから、広くご意見や評価をいただくことで、様々なニーズを把握し、今後の東成区政に反映していくための貴重な情報として活用することを目的として、アンケートを実施しました。

2) 調査のテーマ

令和3年度第1回区民アンケートのテーマは次のとおりです。

■まちづくり ■在宅医療・在宅介護 ■健康づくり

3) 調査の実施状況

調査期間 : 令和3年12月6日～12月20日

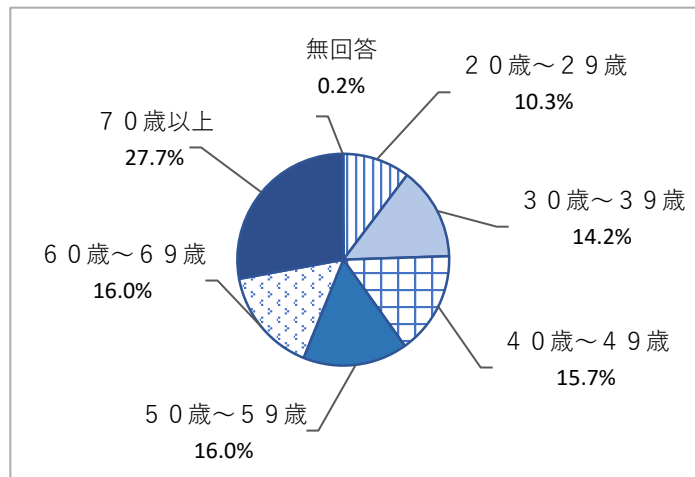
方 法 : 郵送と大阪市行政オンラインシステム

対 象 : 住民基本台帳から無作為抽出した区民1,300名

回答者数 : 613名(47.2%)

4) 回答者属性

	全体	613
年 齢 別	20～29歳	63
	30～39歳	87
	40～49歳	96
	50～59歳	98
	60～69歳	98
	70歳以上	170
	無回答	1



※アンケート結果については、小数点以下第3位を四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。

※問1から問6までは、回答者属性にかかる質問です。

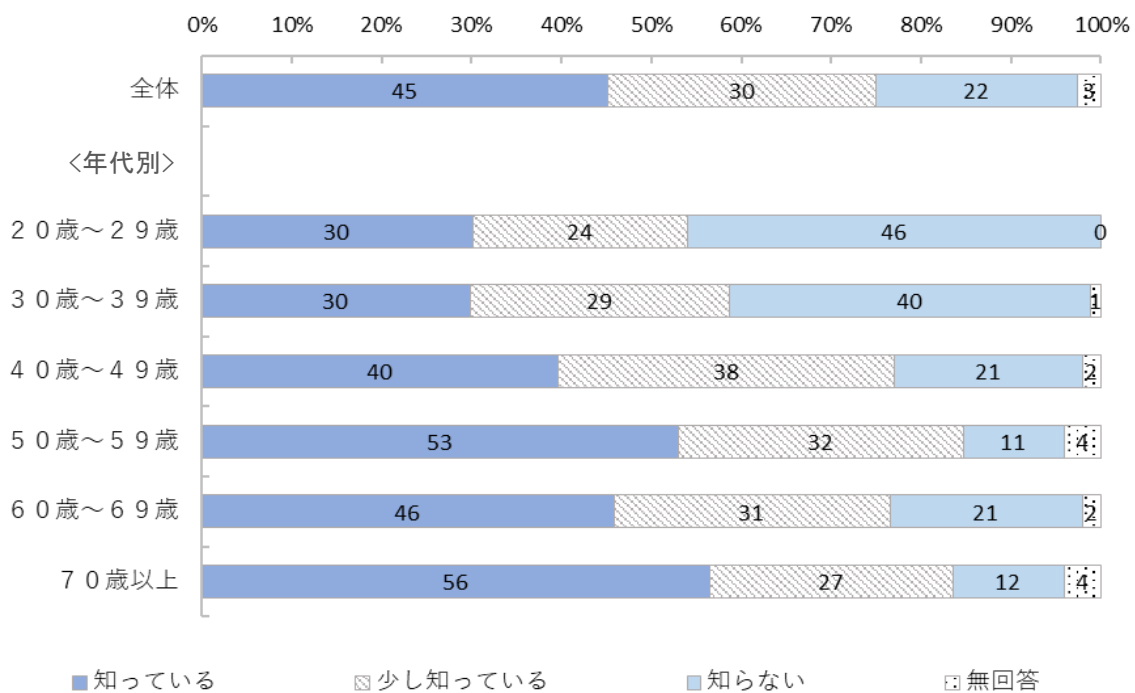
Ⅱ アンケート結果

◆◆◆◆【まちづくりについて】◆◆◆◆

東成区は、戦後の高度経済成長とともに製造業を中心としたモノづくりで発展してきました。
そして現在も、優れた技術を持った企業等が数多く存在します。

問7 あなたは、東成区に製造業を中心とした大小さまざまな企業があることを知っていますか？

項目	回答数	比率(%)
1 知っている	277	45
2 少し知っている	183	30
3 知らない	137	22
無回答	16	3
回答者数	613	



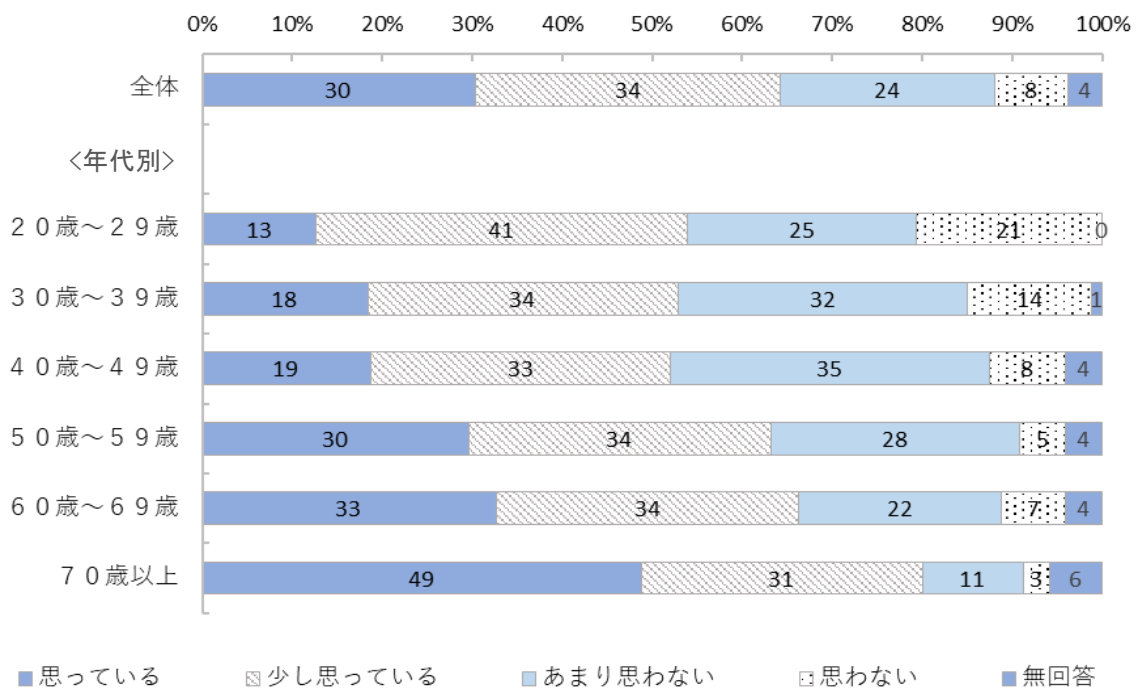
●7割以上の方が製造業を中心とした大小さまざまな企業があることを知っている

- ・東成区に製造業を中心とした大小さまざまな企業があることを「知っている」が45%、「少し知っている」が30%、合わせて75%となりました。
- ・年代別で見ると、40歳代以上で高く、各年代で80%前後となっていますが、30歳代以下では「知らない」が高く、40%を超えています。
- ・東成区には、製造業を中心とした大小さまざまな企業が数多く存在することを、区広報紙「ひがしなりだより」やホームページ、体験型イベント等を通じて情報発信に努めます。

◆◆◆◆【まちづくりについて】◆◆◆◆

問8 あなたは、東成区が「モノづくりのまち」である事を誇りに思っていますか？

項目	回答数	比率(%)
1 思っている	186	30
2 少し思っている	208	34
3 あまり思わない	146	24
4 思わない	50	8
無回答	23	4
回答者数		613



●約6割の方が「モノづくりのまち」である事を誇りに思っている

- ・東成区が「モノづくりのまち」である事を誇りに「思っている」が30%、「少し思っている」が34%、合わせて64%となりました。
- ・年代別で見ると、「思っている」、「少し思っている」を合わせた割合は50歳代以上で高く、40歳代以下では「あまり思わない」「思わない」の割合が40%を超えています。
- ・東成区では、地域資源である「モノづくり」にスポットを当てた様々な取り組みを行っているので、区広報紙「ひがしなりだより」やホームページ、体験型イベント等を通じて情報発信に努めます。

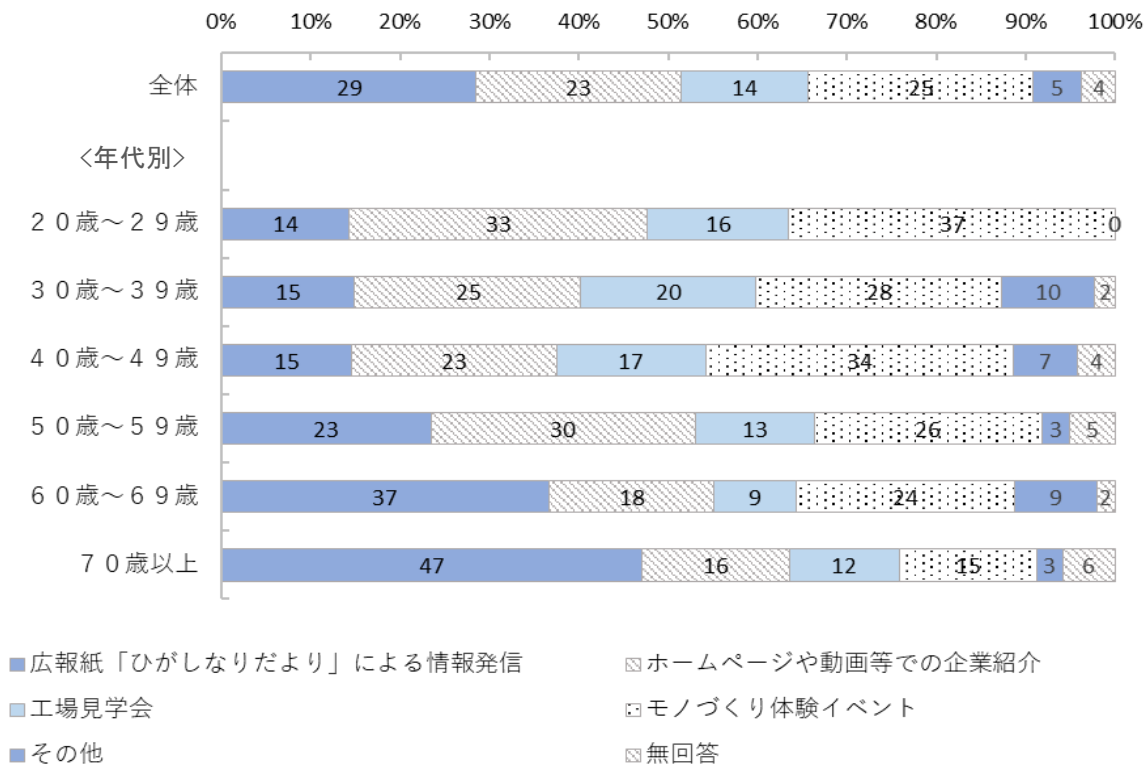
◆◆◆◆【まちづくりについて】◆◆◆◆

問9 今後、東成区が「モノづくりのまち」であることを知ってもらうためには、何に重点的に取り組めば良いと思いますか？

項目	回答数	比率(%)
1 広報紙「ひがしなりだより」による情報発信	175	29
2 ホームページや動画等での企業紹介	140	23
3 工場見学会	87	14
4 モノづくり体験イベント	155	25
5 その他	33	5
無回答	23	4
回答者数	613	

●その他の主な意見

- ・SNSでの情報発信
- ・テレビで特集をしてもらう
- ・教育現場で伝える



●広報紙「ひがしなりだより」による情報発信を重点的に取り組むべきと考えられている

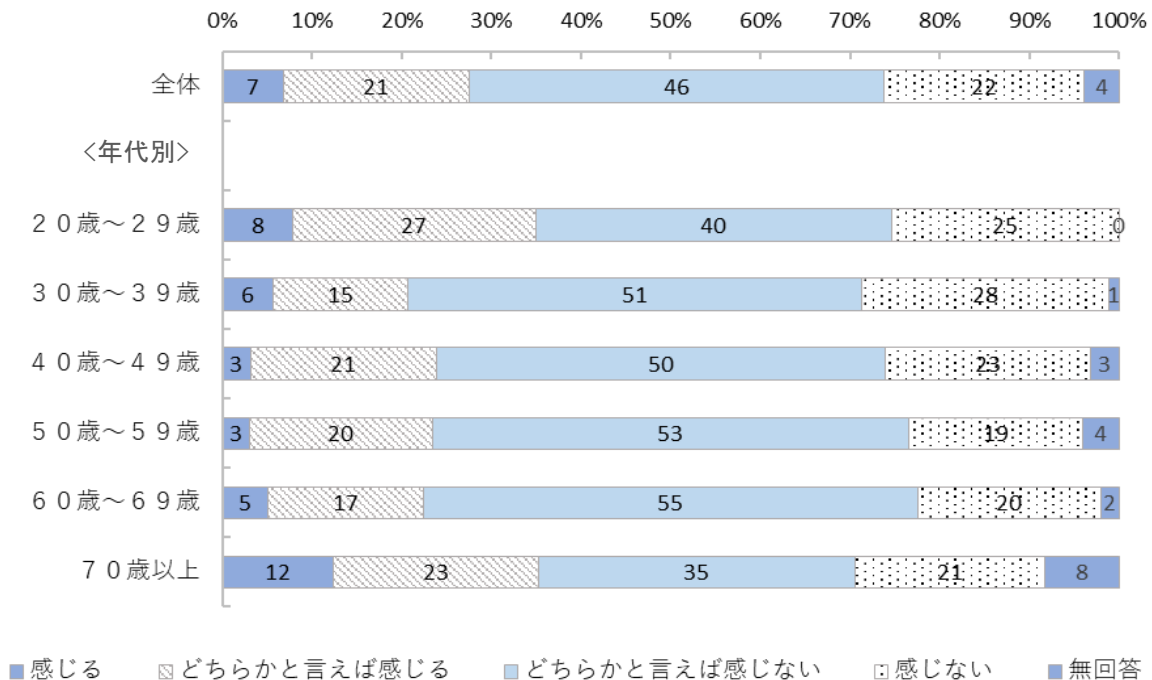
- ・「広報紙『ひがしなりだより』による情報発信」が29%で最も多く、「モノづくり体験イベント」が25%、「ホームページや動画等での企業紹介」が23%と続いています。
- ・年代別で見ると、年代が高い世代ほど、広報紙「ひがしなりだより」による情報発信の割合が高く、40歳代以下の世代では「工場見学会」「モノづくり体験イベント」などの体験型イベントを回答する人が多い傾向にあります。
- ・東成区が「モノづくりのまち」であることを知ってもらえるよう、区広報紙「ひがしなりだより」やホームページ、体験型イベント等を通じて情報発信に努めます。

◆◆◆◆【まちづくりについて】◆◆◆◆

東成区では、マルチパートナーシップによる地域・社会課題への取組みや、にぎわいのあるまちづくりを推進しています。
<ひがしなりソケット>
 企業や団体等が協働して、地域・社会貢献につながるアイデアを生み出す場を提供しています。
<東成こどもモノづくり体験フェスタ>
 区内モノづくり企業等の協力を得て、「モノづくり体験」の場を小学生に提供しています。

問10 あなたは、区役所の取組みを通じて、企業・団体等が相互連携して、課題への取組みが推進されていると感じますか？

項目	回答数	比率(%)
1 感じる	42	7
2 どちらかと言えば感じる	127	21
3 どちらかと言えば感じない	283	46
4 感じない	137	22
無回答	24	4
回答者数	613	



● 区役所の取組みを通じ課題への取組みが推進されていると実感している割合は28%

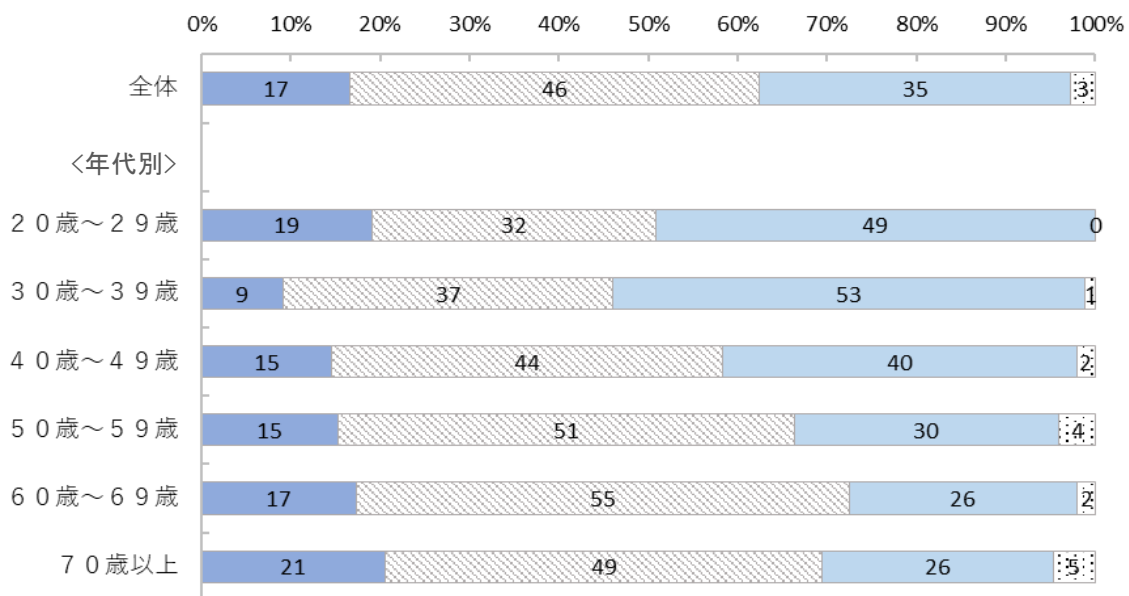
- ・「感じる」の7%と「どちらかと言えば感じる」の21%を合わせた、肯定的な回答の割合は28%でした。昨年度の肯定的な回答の割合29%からほぼ横ばいの結果となりました。
- ・各年代層の回答割合では、全ての層で「どちらかと言えば感じない」が最も多く占めました。
- ・より多くの方に取組みが推進していると実感いただけるよう、引き続き、マルチパートナーシップによる課題への取組みを広げていくとともに、区広報紙「ひがしなりだより」やホームページ等を通じて情報発信に取り組んでいきます。

◆◆◆◆【まちづくりについて】◆◆◆◆

東成区では地域資源を再発見・再確認し、区内外へ効果的に情報発信を行うことを目的に大阪市立大学と連携して地域資源の収集やコンテンツ作成を行い、「ひがしなりまち歩きアプリ」を2020(令和2)年7月にホームページに公開しています。

問11 東成区には、区内のいたるところに古い歴史と文化を物語る文化財等が残されていることを知っていますか？

項目	回答数	比率(%)
1 知っており、散策や体験したこともある	102	17
2 知っているが、散策や体験したことはない	281	46
3 知らない	213	35
無回答	17	3
回答者数	613	



■ 知っており、散策や体験したこともある □ 知っているが、散策や体験したことはない ■ 知らない □ 無回答

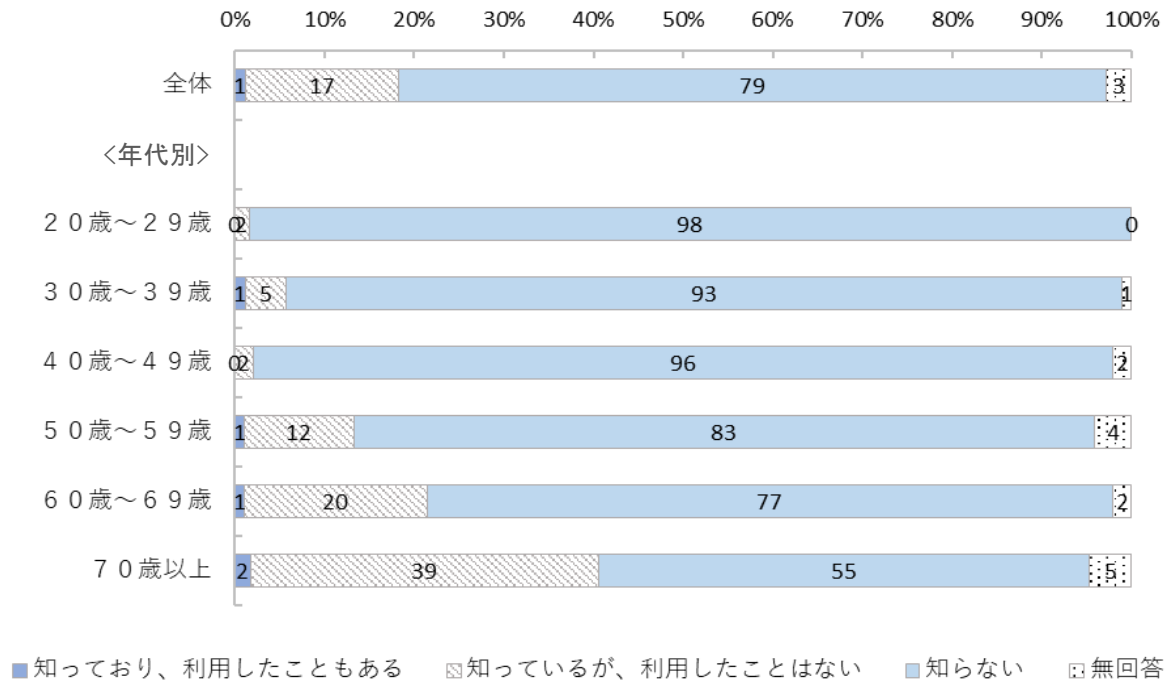
●約6割の人が区内に古い歴史と文化を物語る文化財等が残っているを知っている。

- ・東成区内に古い歴史と文化を物語る文化財等が残ることを「知っており、散策や体験したこともある」が17%、「知っているが、散策や体験したことはない」が46%となりました。
- ・30代以下では、「知らない」が半数近くを占めています。
- ・東成区には、古い歴史と文化を物語る文化財等が残ることを、区広報紙「ひがしなりだより」やホームページ、体験型イベント等を通じて情報発信に努めます。

◆◆◆◆【まちづくりについて】◆◆◆◆

問12 「ひがしなりまち歩きアプリ」を知っていますか？

項目	回答数	比率(%)
1 知っており、利用したこともある	7	1
2 知っているが、利用したことはない	105	17
3 知らない	484	79
無回答	17	3
回答者数	613	



●「ひがしなりまち歩きアプリ」の認知は約2割

- ・「『ひがしなりまち歩きアプリ』を知っており・利用したことがある」が1%、「知っているが、利用したことはない」が17%で認知が進んでいない事が判明しました。
- ・この結果は、コロナ禍による「ひがしなりまち歩きアプリ」を利用したウォーキングイベントが中止になっており、周知があまり進んでいないことが要因と思われます。
- ・「ひがしなりまち歩きアプリ」を活用したウォーキングイベント等の開催や区広報紙「ひがしなりだより」やホームページでの情報発信を通じ、認知の向上に努めます。

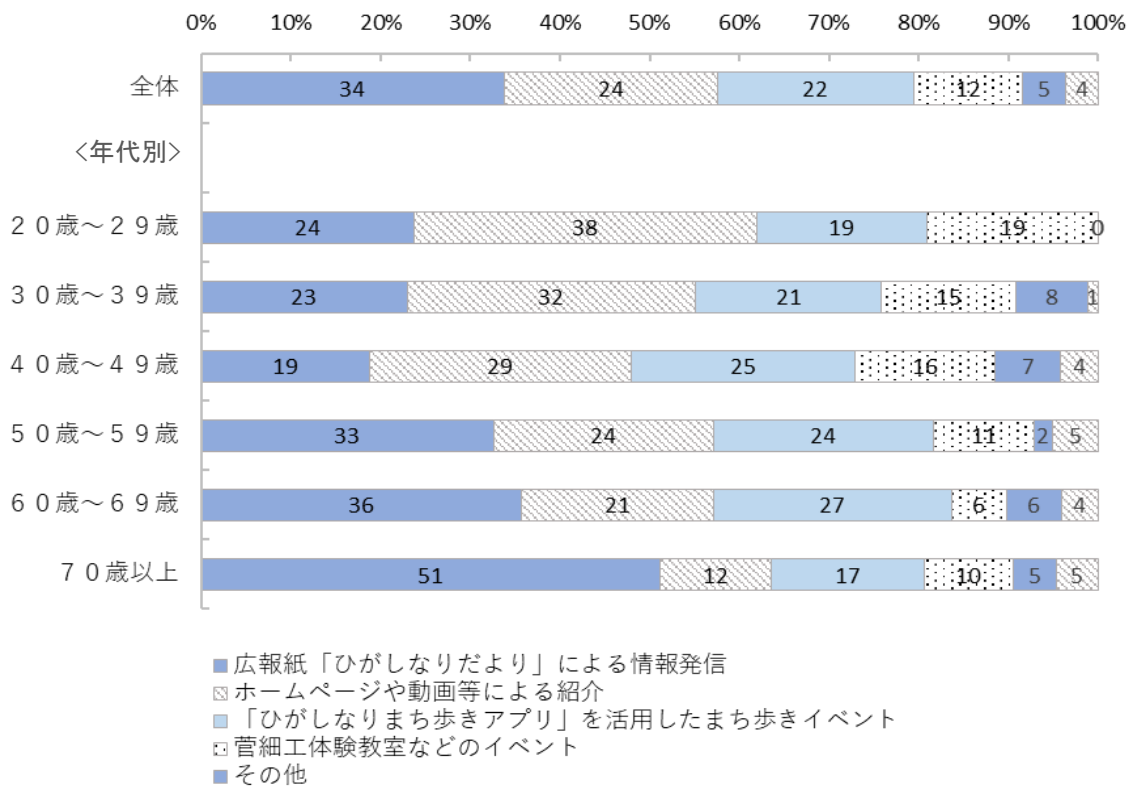
◆◆◆◆【まちづくりについて】◆◆◆◆

問13 今後、東成区の地域資源について多くの人に知ってもらうには、何に重点的に取り組めば良いと思いますか？

項目	回答数	比率(%)
1 広報紙「ひがしなりだより」による情報発信	207	34
2 ホームページや動画等による紹介	146	24
3 「ひがしなりまち歩きアプリ」を活用したまち歩きイベント	134	22
4 菅細工体験教室などのイベント	74	12
5 その他	30	5
無回答	22	4
回答者数	613	

●その他の主な意見

- ・ SNSでの情報発信
- ・ テレビで特集をしてもらう
- ・ 教育現場で伝える



●広報紙「ひがしなりだより」による情報発信を重点的に取り組むべきと考えられている

- ・「広報紙『ひがしなりだより』による情報発信」が34%で最も多く、「ホームページや動画等での企業紹介」が24%、「『ひがしなりまち歩きアプリ』を活用したまち歩きイベント」が22%と続いています。
- ・年代別で見ると、年代が高い世代ほど、広報紙「ひがしなりだより」による情報発信の割合が高い傾向にあり、「まち歩きや」「体験教室」などの体験型イベントによる情報発信は、40歳代が最も高くなっています。
- ・東成区には、古い歴史と文化を物語る文化財等の多くの「地域資源がある」ことを知ってもらえるよう、区広報紙「ひがしなりだより」やホームページ、体験型イベント等を通じて情報発信に努めます。

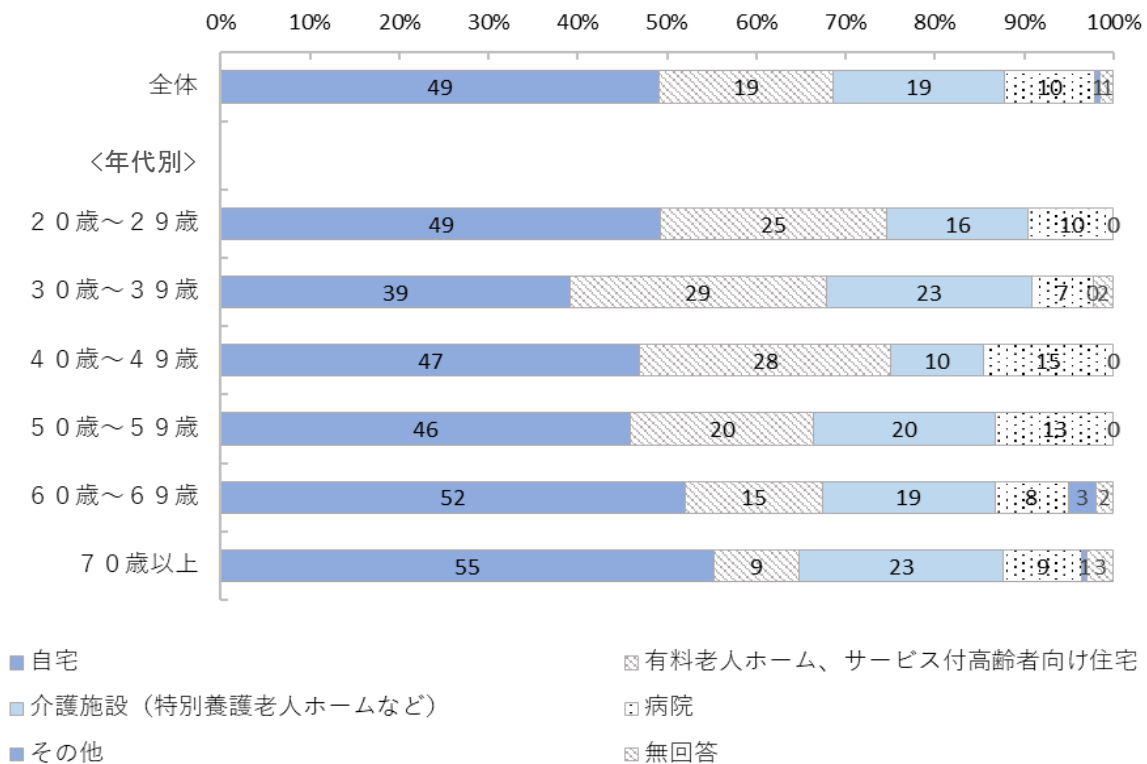
◆◆◆◆◆【在宅医療・在宅介護について】◆◆◆◆◆

団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、医療と介護の両方を必要とする方々が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けていくことができるよう、医療関係者が訪問して治療等を行う在宅医療と介護の一体的な提供を充実させるため、各関係機関と共に取組みを進めています。

問14 もしも、あなたが医療と介護が同時に必要な状態（入院の必要はないが、通院するのは困難な状況）になった場合、どこで過ごしたいですか？

項目	回答数	比率(%)
1 自宅	301	49
2 有料老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅	119	19
3 介護施設（特別養護老人ホームなど）	118	19
4 病院	62	10
5 その他	4	1
無回答	9	1
回答者数	613	

●その他の主な意見
・息子の家
・相談したことがない



●自宅で過ごしたい方が半数近くを占める

- ・「自宅」が49%と最も多く、「有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅」「介護施設（特別養護老人ホームなど）」が19%と同じ割合で次に続いています。
- ・医療と介護が同時に必要となった場合、いずれの年代も自宅で過ごしたいと考えている方が最も多いという結果になっています。

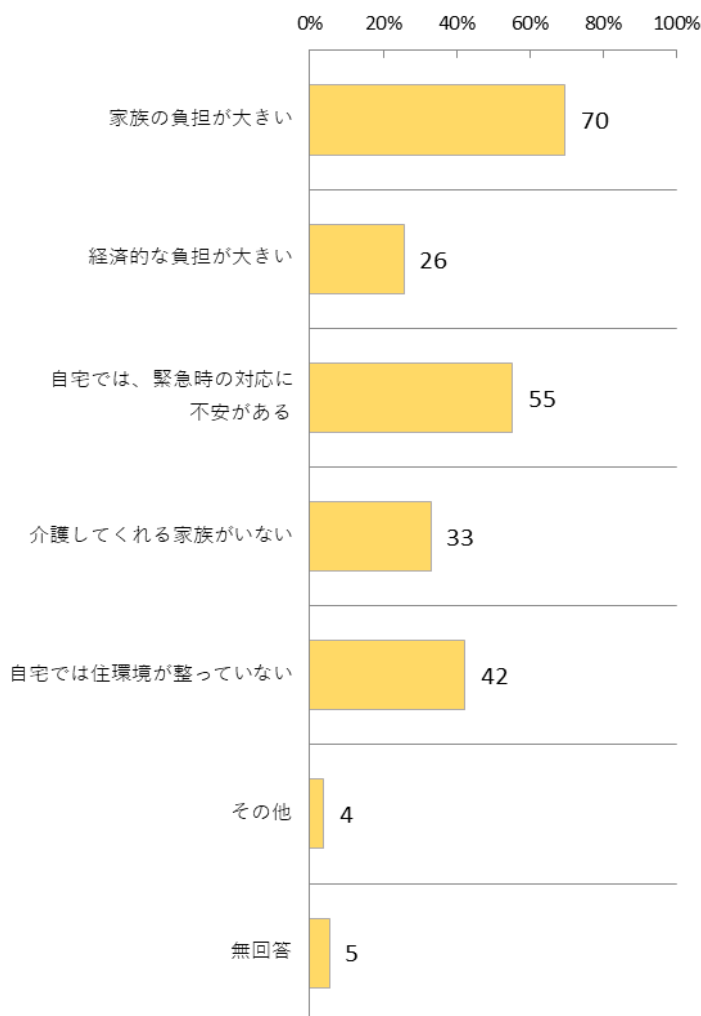
◆◆◆◆【在宅医療・在宅介護について】◆◆◆◆

問15 問14で「1 自宅」以外の回答をした方にお聞きます。
なぜ、自宅以外で暮らしたいと思いますか？【複数回答可】

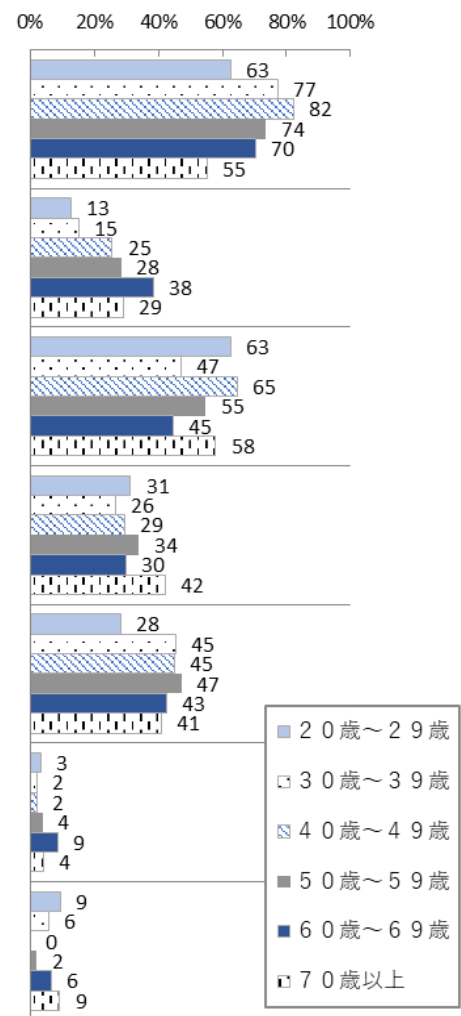
項目	回答数	比率(%)
1 家族の負担が大きい	217	70
2 経済的な負担が大きい	80	26
3 自宅では、緊急時の対応に不安がある	172	55
4 介護してくれる家族がいない	103	33
5 自宅では住環境が整っていない	132	42
6 その他	12	4
無回答	17	5
回答者数	312	

●その他の主な意見
・有料老人ホームに入所した家族がいきいきと過ごしているため
・かかりつけ医と相談しているため

<全体>



<年代別>



●自宅以外で暮らしたい理由として「家族の負担が大きい」が7割

・医療と介護が同時に必要な状態となった場合に、自宅以外で暮らしたいと回答された理由は「家族の負担が大きい」が70%と最も多く、次に「自宅では、緊急時の対応に不安がある」が55%、「自宅では住環境が整っていない」が42%と続きます。

・年代別でみると、ほとんどの年代で「家族の負担が大きい」が最も多く、介護をしてくれる家族への負担を重要視していることが分かります。

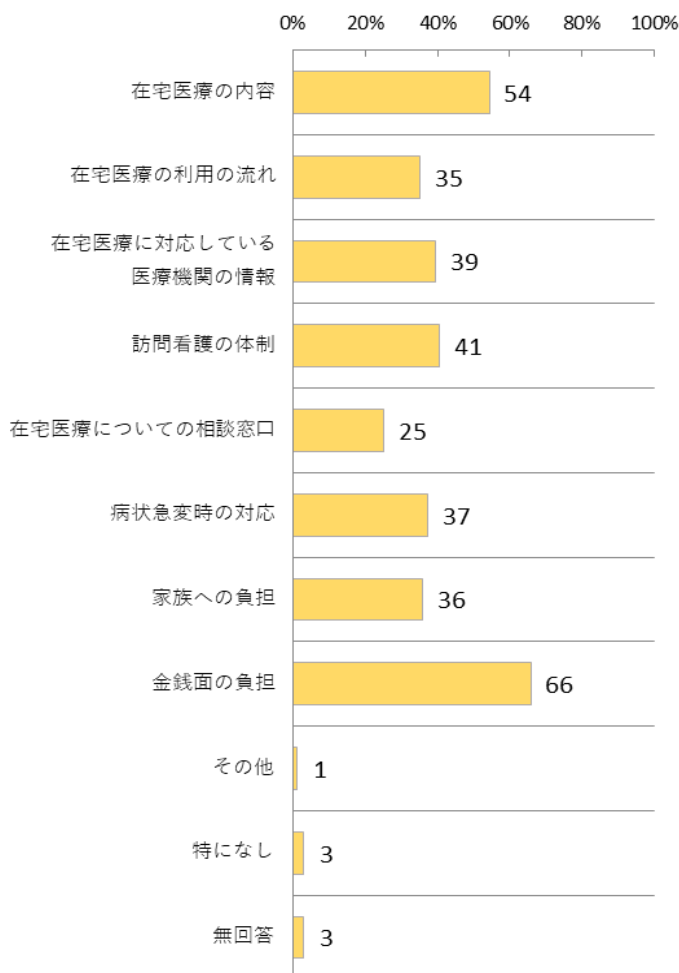
◆◆◆◆◆【在宅医療・在宅介護について】◆◆◆◆◆

問16 あなたが在宅医療を受ける場合、知りたい情報は何か？【4つ以内で複数回答可】

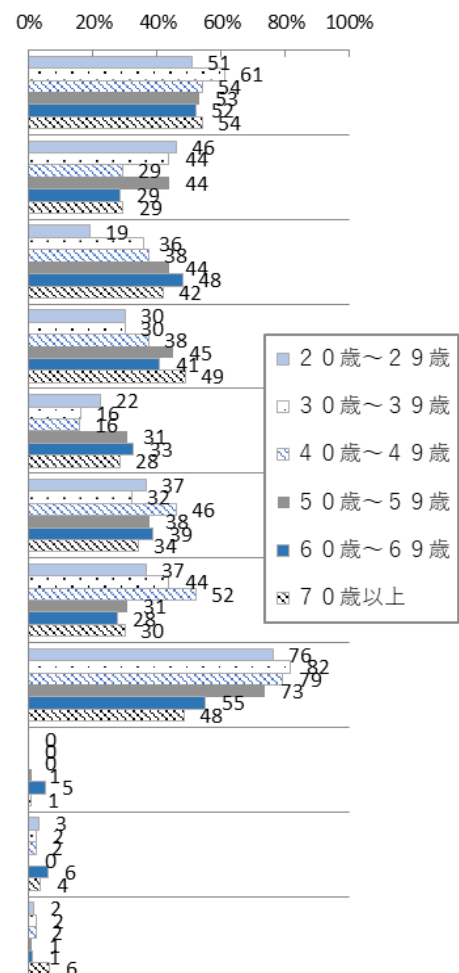
項目	回答数	比率(%)
1 在宅医療の内容	333	54
2 在宅医療の利用の流れ	216	35
3 在宅医療に対応している医療機関の情報	241	39
4 訪問看護の体制	249	41
5 在宅医療についての相談窓口	154	25
6 病状急変時の対応	228	37
7 家族への負担	219	36
8 金銭面の負担	403	66
9 その他	7	1
10 特になし	18	3
無回答	18	3
回答者数	613	

- その他の主な意見
- ・医師の在宅医療に対する考え方やポリシー
 - ・看護師のキャリア
 - ・在宅医療は考えていない

<全体>



<年代別>



●在宅医療を受ける場合に知りたい情報は「金銭面の負担」が最も多い

- ・「金銭面の負担」が66%、次に「在宅医療の内容」が54%、「訪問看護の体制」が41%と続きます。
- ・年代別でみると、50歳代以下の方は「金銭面の負担」と回答された割合が7割を超えていますが、60代以上の方は「金銭面の負担」以外にも「在宅医療の内容」が5割を超え、「在宅医療に対応している医療機関の情報」「訪問看護の体制」の割合も4割代となっており、在宅医療に対する幅広い情報を必要とされています。

◆◆◆◆◆【在宅医療・在宅介護について】◆◆◆◆◆

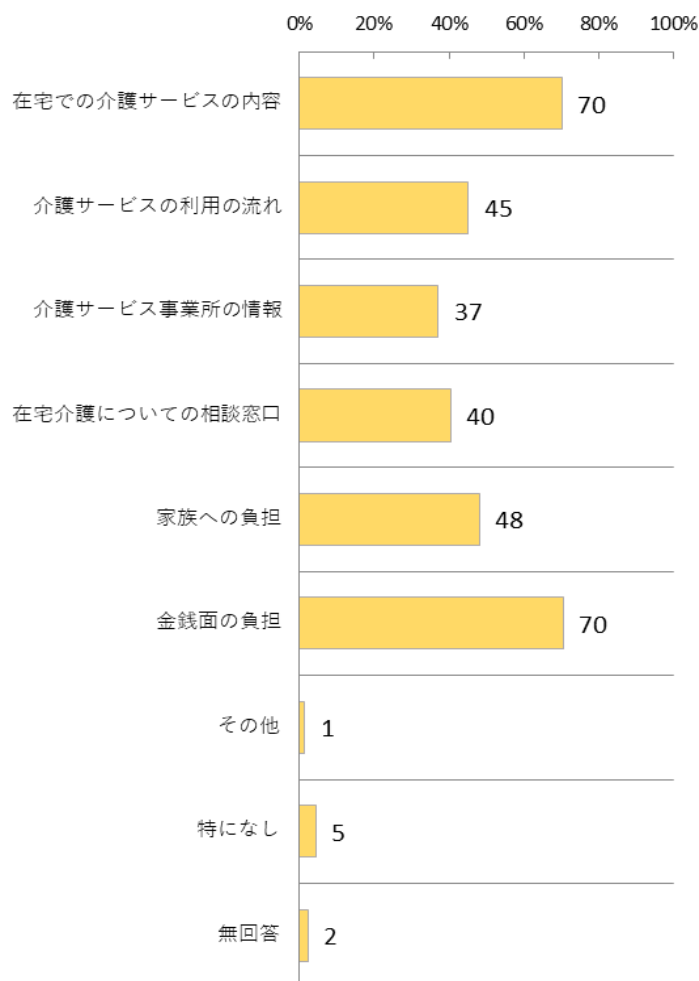
問17 あなたが在宅介護を受ける場合、知りたい情報は何ですか？【4つ以内で複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 在宅での介護サービスの内容	430	70
2 介護サービスの利用の流れ	277	45
3 介護サービス事業所の情報	227	37
4 在宅介護についての相談窓口	248	40
5 家族への負担	295	48
6 金銭面の負担	432	70
7 その他	9	1
8 特になし	28	5
無回答	14	2
回答者数	613	

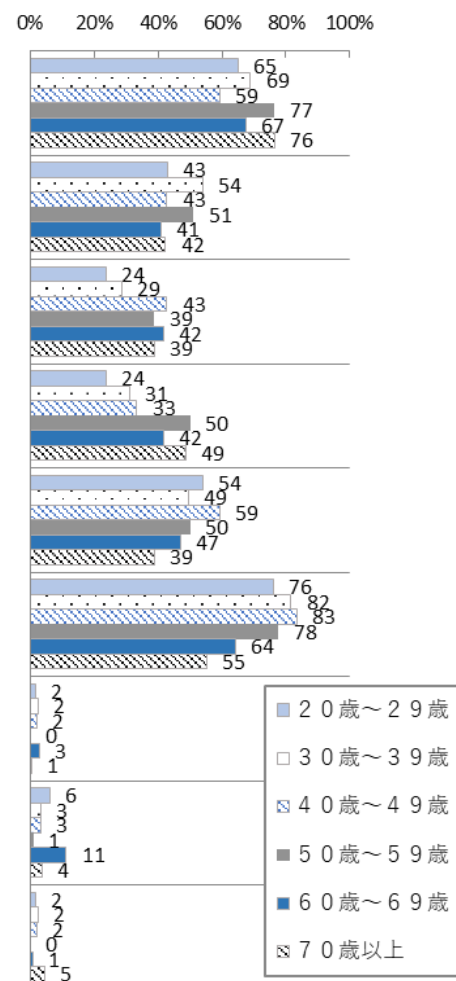
●その他の主な意見

- ・ホームヘルパーの経験
- ・在宅介護は考えていない

<全体>



<年代別>



●在宅介護を受ける場合に知りたい情報は「在宅での介護サービスの内容」と「金銭面の負担」が同率で多い

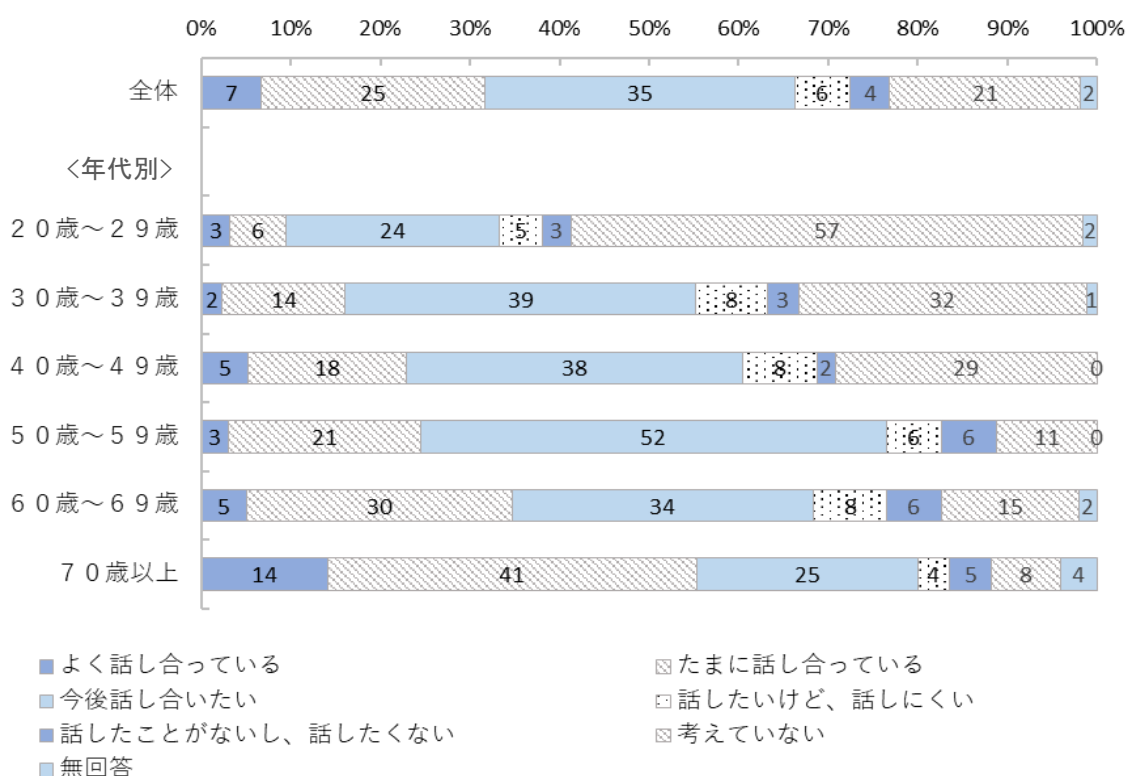
・「在宅での介護サービスの内容」と「金銭面の負担」が同率70%で多く、次に「家族への負担」が48%、「介護サービスの流れ」が45%と続きます。

・今後も講演会や地域講座(出前講座)等を通じて、在宅医療や介護に関する情報を幅広くお知らせしていきます。

◆◆◆◆【在宅医療・在宅介護について】◆◆◆◆

問18 あなたは万が一に備えて、人生の最期が近くなった時の医療や介護の希望について、家族や信頼できる人と話し合ったことがありますか？

項目	回答数	比率(%)
1 よく話し合っている	41	7
2 たまに話し合っている	153	25
3 今後話し合いたい	212	35
4 話したいけど、話しにくい	38	6
5 話したことがないし、話したくない	27	4
6 考えていない	131	21
無回答	11	2
回答者数	613	



●話し合っている方の割合は32%

・「よく話し合っている」が7%、「たまに話し合っている」が25%となっており、すでに話し合っている方は32%にとどまっています。

・「今後話し合いたい」が35%「話したいけど話しにくい」が6%となっており、話し合いの必要性については4割の方が認識されているものの、まだ話し合うまでには至っていないことが分かりました。

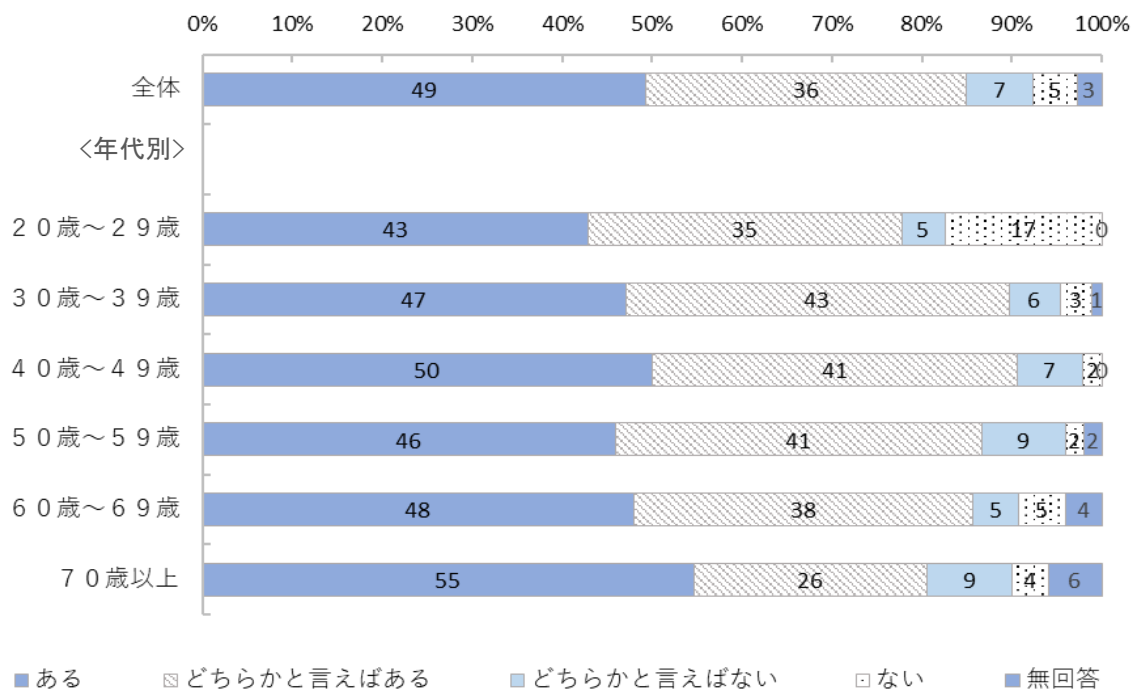
・年代別でみると、60歳代でもすでに話し合っている方の割合は35%にとどまっていますが、70歳以上になると半数以上の方が、話し合っている結果となりました。

◆◆◆◆【健康づくりについて】◆◆◆◆

東成区では、「健康寿命を延伸するため、区民が主体的、継続的に健康づくりに取り組める環境づくりを推進する」ことを目的に、①小中学校での食育講座、②特定健診等の受診率向上、③介護予防事業として「いきいき百歳体操」の普及啓発・継続支援などの取り組みを行っています。

問19 あなたは、健康づくりに興味がありますか？

項目	回答数	比率(%)
1 ある	302	49
2 どちらかと言えばある	219	36
3 どちらかと言えない	45	7
4 ない	30	5
無回答	17	3
回答者数	613	



●理由（主な意見）

<「ある」、「どちらかと言えばある」と回答>

- ・健康寿命をのばして、楽しく過ごしたいため。
- ・家族に迷惑をかけるのを防ぐため。
- ・減量・体型維持をしたいため。

<「ない」、「どちらかと言えない」と回答>

- ・今、健康であり心配がないため。まだ気にする年齢でないため。
- ・行動に移すのが億劫であるため。

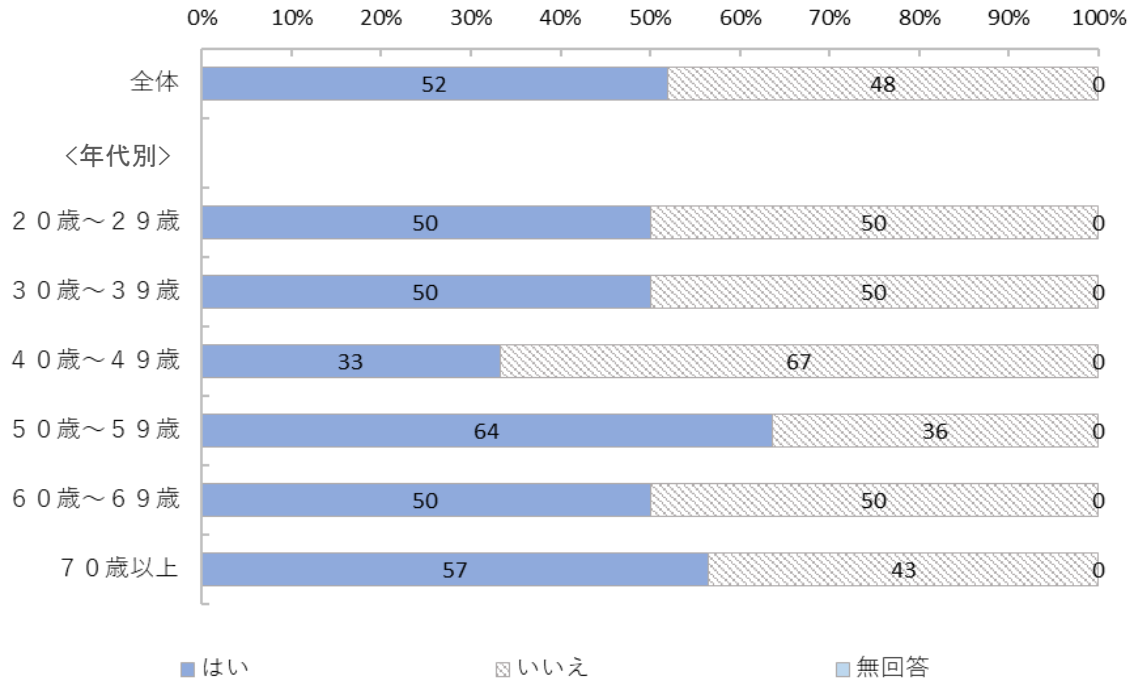
●健康づくりに興味を持つ者の割合が85%

- ・各年代別では、20歳代で約80%、30歳代～60歳代では90%前後、70歳以上でも80%以上の方が、健康づくりに興味を持っています。
- ・区民の健康づくりに対する関心は高いと考えられ、引き続き、区民が主体的、継続的に健康づくりに関心を持ち、生活習慣の改善や病気の予防、運動の実践等に取り組めるような啓発活動を実施します。

◆◆◆◆【健康づくりについて】◆◆◆◆

問20 問19で「3 どちらかと言えない」及び「4 ない」と回答した方にお聞きます。
あなたは定期的に健診(特定健診やがん検診)を受けていますか？

項目		回答数	比率(%)
1	はい	39	52
2	いいえ	36	48
	無回答	0	0
回答者数		75	



●定期的に健診をうけている区民の割合は52%

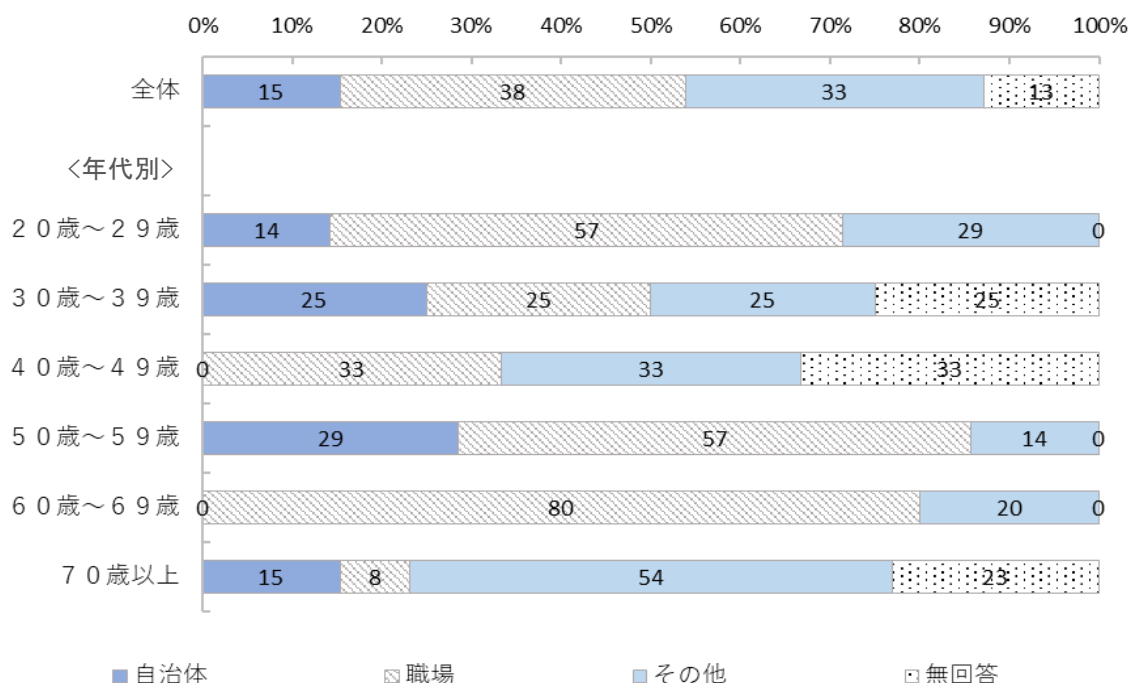
- ・各年代別では、50歳代の64%が「はい」と回答しており、その他の世代より健診を受けている方が多い結果となりました。一方、40歳代では33%とその他の世代に比べて健診を受けていると回答した方が少ない結果となりました。
- ・特に40歳代を中心に、生活習慣病の早期発見のため健診の受診勧奨を引き続き行っていく必要があります。

◆◆◆◆【健康づくりについて】◆◆◆◆

問21 問20で「1 はい」と回答した方にお聞きます。
定期的な健診(特定健診やがん検診)は、どこで受けていますか？

項目	回答数	比率(%)
1 自治体	6	15
2 職場	15	38
3 その他	13	33
無回答	5	13
回答者数	39	

●その他の主な意見
・病院
・学校



● 定期的な健診受診者のうち、自治体で健診を受けているのは15%

- ・主に仕事をしていると思われる年代(20歳～69歳)は、職場で健診を受けている方が比較的多い傾向にあります。
- ・40歳代、60歳代は、自治体で定期的な健診を受けていると回答している方はいませんでした。
- ・70歳以上の方は、「その他」として病院で受けていると回答した方が多い傾向にありました。
- ・早期発見のために健診受診者を増やす取組として、職場の受診率の向上のみならず、身近な病院や自治体(区保健福祉センター)での健診の実施について周知を図り、健診受診勧奨を行います。

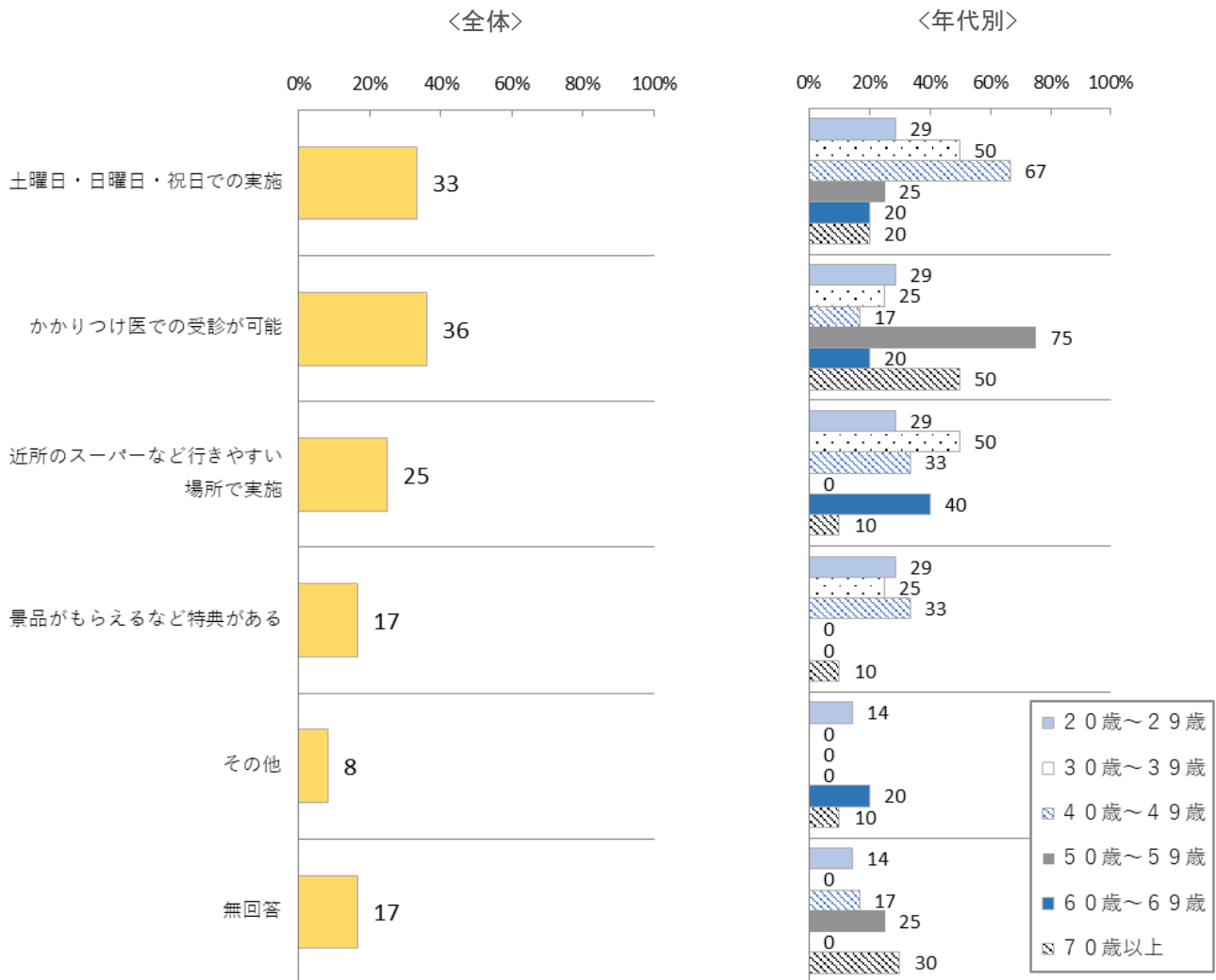
◆◆◆◆◆【健康づくりについて】◆◆◆◆◆

問22 問20で「2 いいえ」と回答した方にお聞きます。

健診(特定健診やがん検診)について、どのような条件なら受けようと思いますか?【2つ以内で複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 土曜日・日曜日・祝日での実施	12	33
2 かかりつけ医での受診が可能	13	36
3 近所のスーパーなど行きやすい場所で実施	9	25
4 景品がもらえるなど特典がある	6	17
5 その他	3	8
無回答	6	17
回答者数	36	

●その他の主な意見
・確実に病気を発見してくれる



●かかりつけ医での健診受診希望の割合は36%

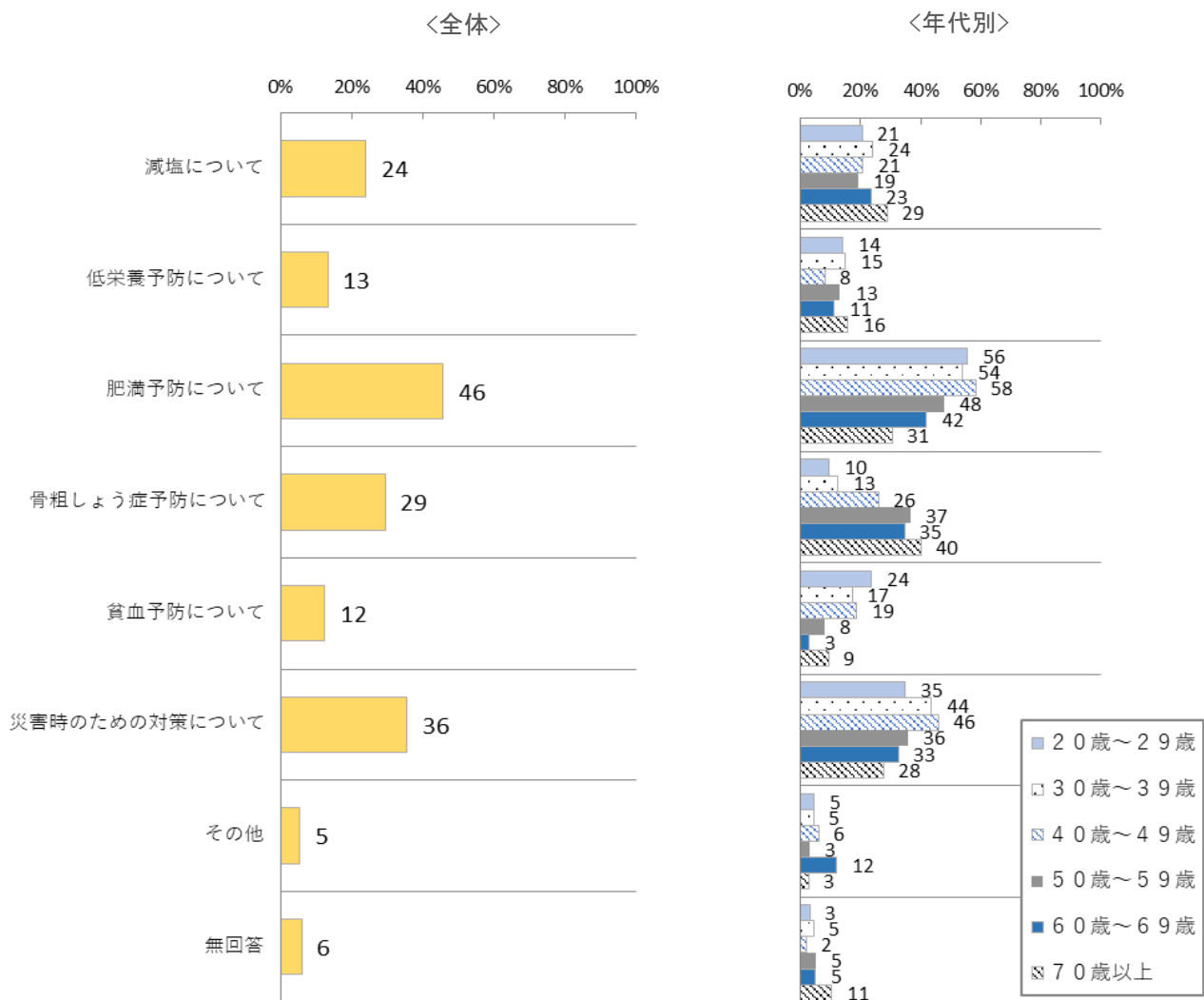
- ・定期的に健診を受けていない方が望む条件は、「かかりつけ医での受診が可能」が36%と最も多く、次が「土曜日・日曜日・祝日での実施」で33%でした。
- ・土日祝での健診は、既に実施しているため、健診実施の曜日や時間、場所を更にわかりやすく周知し、引き続き健診受診啓発に取り組めます。

◆◆◆◆【健康づくりについて】◆◆◆◆

問23 令和元年度の区民アンケートで、区民の方が健康づくりに関して興味を持つ内容を確認したところ「栄養」と「運動」への割合が多いという結果でした。
「栄養」に関して、どのような情報が知りたいと思いますか？【2つ以内で複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 減塩について	146	24
2 低栄養予防について	81	13
3 肥満予防について	279	46
4 骨粗しょう症予防について	180	29
5 貧血予防について	75	12
6 災害時のための対策について	218	36
7 その他	33	5
無回答	36	6
回答者数	613	

●その他の主な意見
・栄養バランスを考えた食事について
・糖尿病予防について
・個人の状態に合わせた栄養素の取り方について



●「栄養」に関して知りたい情報は、「肥満予防について」の割合が46%と最も高い。

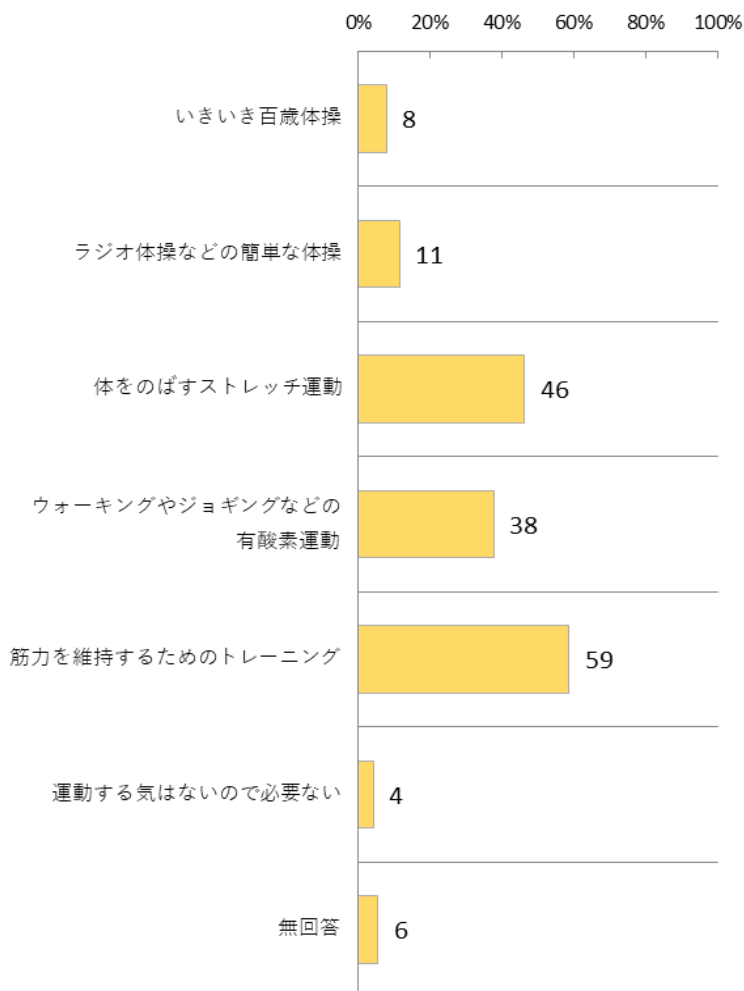
- ・20歳代～60歳代は「肥満予防について」と回答した方が最も高く、70歳以上では「骨粗しょう症予防について」と回答した方が40%と最も高い結果となりました。
- ・地域での健康講座や区広報紙「ひがしなりだより」やホームページ等を通して、生活習慣病予防にかかわる「食」の情報について情報提供に取り組んでいきます。

◆◆◆◆【健康づくりについて】◆◆◆◆

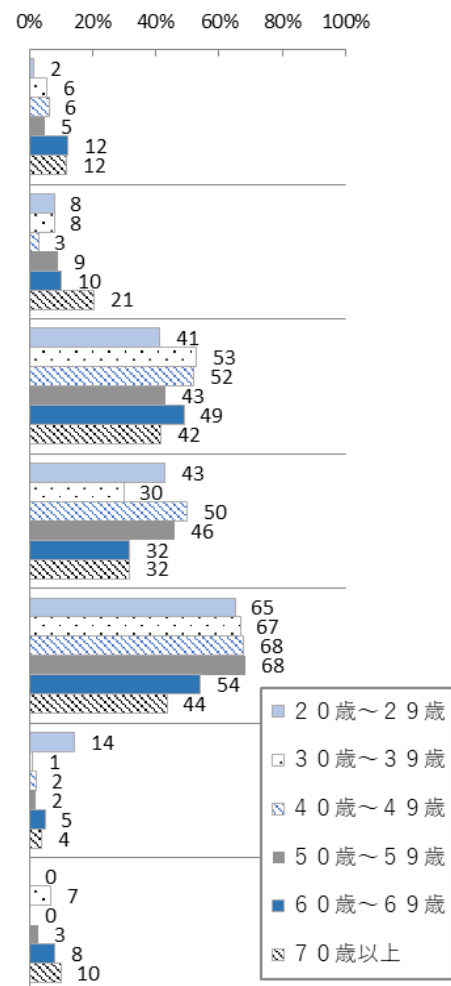
問24 問23に関連して、「運動」に関して、どのような情報が知りたいと思いますか？【2つ以内で複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 いきいき百歳体操	49	8
2 ラジオ体操などの簡単な体操	70	11
3 体をのばすストレッチ運動	283	46
4 ウォーキングやジョギングなどの有酸素運動	231	38
5 筋力を維持するためのトレーニング	359	59
6 運動する気はないので必要ない	26	4
無回答	34	6
回答者数	613	

<全体>



<年代別>



- 「運動」に関して知りたい情報は「筋力を維持するためのトレーニング」が59%、「体をのばすストレッチ運動」が46%
- ・全世代で「筋力を維持するためのトレーニング」と回答した方の割合が最も高い一方、運動情報に関心がある中で、40、60歳代を除く年代で「いきいき百歳体操」と回答した割合が最も低い傾向にあります。
- ・約90%の人は運動の情報に関心を持っており、「運動する気はないので必要ない」、「無回答」と回答した運動の情報への関心がない方は10%にとどまりました。
- ・引き続き、いきいき百歳体操の普及啓発を行いながら、家庭でも取り組める筋力を維持するための運動など、壮年期、高齢期など各年齢層に応じた情報の提供を、地域での健康講座等を活用して取り組んでいきます。

自由意見欄のご意見等

※ご意見やご要望をわかりやすく掲載するために、一部抜粋や修正を行っています。

<まちづくりについて>

- ・今回このアンケートを通じて、東成区が「ものづくり」の町であることを初めて知った。「ものづくり」の町と言うと個人的には東大阪市のイメージが強いので、もっと力を入れて活動しないといけないかなと思った。
- ・ものづくりのまち東成として、子どもたちに受けついでいてほしい。技術などの見学や体験会などを頻繁に行ってほしい。コロナ禍での対面での実施が困難ならオンラインでもよい。実際に取り組んでおられるなら、もっと発信してほしい。高齢者ではなく、子どもたち目線のイベントを行ってほしい。

<在宅医療・在宅介護について>

- ・いざという時、どこに相談すればいいのかの窓口があると嬉しい。
- ・親が高齢で、いろいろな介護サービスを利用しているが、介護する側の子どもである私たち兄妹にかかる負担、手続きの複雑さを感じており、介護サービスのシステムもよく分からない。

<健康づくりについて>

- ・各地域の公民館でもっと身体を動かす取組をしてほしい。現在の取組は午前実施のものが多く、仕事をしていると参加しにくい。また、内容が画一なので、ストレッチ、筋トレなど組み合わせたものにしてほしい。
- ・地域で朝のラジオ体操を実施していたが、近所迷惑との声があり現在は中止しており、有志5～6人で行っている状態である。区民なら全員参加できるようになれば良いと思う。

<その他>

- ・東成区の取り組んでいる事業内容をもっと発信した方が良いと思う。若年層はインターネット、高齢者はチラシなどの手段で見てもらえると思う。今のコロナ禍が収束したら、いろんなイベントも楽しんでいる。

掲載しているものの他にもたくさんのご意見等をいただいております。ご協力ありがとうございました。いただきましたご意見等を参考にさせていただき、東成区政に活かしてまいります。

区民アンケートに関しまして、ご意見やご不明な点等がございましたら、下記の連絡先までお問合せください。
【お問合せ先】東成区役所総務課（総合企画担当） TEL:06-6977-9683



東成区の情報はこちらでも発信してます！

LINE
(防災)



Twitter



facebook
(まちの魅力)



facebook
(子育て)

